

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

例会会報

第2336回

平成18年10月24日(火) 晴(本年度 第16回)

会長報告

丸山隆志

先週・先々週の行事について

- 10/11(水)～13(金):山添高校インターンシップ。
- 10/13(金)・14(土):第2800地区地区大会(酒田)。
- 10/17(火) 時間変更例会・第2ブロックG S E チーム歓迎会。51名の出席で盛会に終了。
- 10/21(土):東根 RC 創立40周年記念式典の参加
- 10/22(日):米沢中央 RC 創立20周年記念式典

* * *

本日は第2800地区関原ガバナーの公式訪問例会です。大変ご多忙の中を当クラブへご訪問頂き本当に有難うございます。関原ガバナーは地区内56クラブ中ほぼ3分の2のクラブを回られ、さぞお疲れもピークに達しているのではとお察し申し上げます。しかしながら地区大会も盛会裏に終了され、反面ほっとしている事と思います。会長・幹事との意見交換会を開いて頂き、ひき続き例会へご出席頂きました。関原ガバナーは、1985年(昭和60年)から4年ほど鶴岡RCに入会されており、そういう意味でも大変親近感のあるガバナーです。

地域に愛されるロータリーを目指して

ゲストスピーチ

RI第2800地区ガバナー 関原亨司氏

昭和61年から4年間、ロータリーのいろはの「い」を教えて頂いた鶴岡RCに、ついにやって来ました。現在の会員名簿によると、当時の会員が10名程おりました。私も何度も挫折し、やめようかと考えたこともありました。が、その方々から支えられて何とか続けた結果が、今につながっていると思うと、本当に鶴岡クラブさんには感謝しております。初めて例会に出席したとき、鶴岡クラブの重さ、スケールの大きさに圧倒されて食事もうるはしを通らないほど緊張していました。そのとき顔見知りの新穂光一郎さん、丹下誠四郎さん



がやさしい言葉をかけてくれた思い出があります。

地区大会では皆さんからご協力頂き無事終わることができました。ほっとしているという実感です。今日は45番目の訪問で、お世話になったクラブさんなので緊張してましたがやさしさが伝わってきてほっとしました。

先程の表彰の多さからみて、さすが地区をひっぱる優秀なクラブだなと敬意を表します。それから地区の役員の方も沢山の方に務めて頂き、皆様に改めて御礼申し上げます。表彰もこのクラブが一番多かったかと思います。来年もよろしくお願いします。

私をガバナーに推薦してくださった皆様に本当に良かったといわれるような年度にしたいと思い、病気になる暇もなくやっております。今年度のテーマ「率先しよう」は、親睦と奉仕を通じて明るい未来をもたらすために、120万のロータリアンが力を合わせてやっていくもので、私たちの仕事は地域のニーズとそれらに対する私たちの力量が存在する限り、進展しつづけるものです。その中の4つの強調事項、①識字率向上、②水保全、③健康及び飢餓、④ロータリー家族、それを受けてわが地区としては地域に根ざした活動が重要と考え、それができればロータリーの姿が見えて来て退会防止から会員増強への道が開けると思います。「活動の基本は例会の充実」、効果的なプログラムにより出席しないと損をするような例会にしたい、ロータリーの目的や理念を正確に理解することが大切です。「入りて学び、出でて発せよ」これは国際協議会の会場の入り口に大きく掲げられている標語です。充実した例会になれば出席率アップにつながる、しかし私は仕事を犠牲にしてまでロータリーに出なくても良い、仕事があるからこそロータリーがあるのだからと言いたい。それが不良会員だとは決して言わないでほしい。大いに仕事を頑張って、余った時間をロータリーに貸してほしい。ロータリーはビタミンRになって、体に足りなくてもダメ、ありすぎてもムダということであってほしいと思います。やはり為になるビタミン

は絶対必要ですから、来たくなるような例会ではなくて、行かなければ損をするような例会になるようお願いしたいと思います。

世界のロータリーも 100 年。ニーズが変わってきていることは確かですが、変わってならないものは職業倫理とか自己研鑽、思いやりなどではないかと思っています。是非地域に愛されるロータリーを目指すようなプロジェクトを考えていただきたいと思います。今は意外と世界のほうに目を向けていることが多いような気がします。我々はここで生まれ、ここで生かされて、ここで商売をさせて頂いてここに恩を返すのが私は原則だと思います。世界のロータリー家族もさることながら、まずもって我々の足元をこのロータリークラブがあって良かったといわれるようになってほしいと思います。鶴岡クラブからは是非率先していただきたいと思います。6月の年度末に初期の目標を達成できたと皆さんで地元のお酒で乾杯できるのであれば、やはり入ってよかったということになるかと思っています。そのときは私もお呼び頂ければと、ご期待申し上げております。

この年度は7月1日、1969名でスタートしました。これでは大変なことになると地区協議会や公式訪問等で退会防止を皆さんに訴えさせていただきました。その結果か、9月31日で2017名。純増48名ということではっきりとしています。次の大友年度には2100名近い数字をお渡ししたいと思います。

あるガバナーが公式訪問の時、本当に疲れて「あんま」さんをお願いしたそうです。あんまさんが入ってくるとすぐ、「あなたはロータリーって知っていますか」と聞いたそうです。あんまさんは「私はロータリーに足を向けて眠れないほどお世話になります。そのおかげで今マッサージをさせて頂いているようなもんです」「何かそんなにいいことがあったんですか」「私の足となり手となり目となり口となり体の一部である白い杖を毎年頂いております。ロータリークラブさんのおかげです。そんなことで皆さんのコリや痛みをほぐしてやろうと頑張っているんです。」そのガバナーは気分が良くなって、「ロータリーは素晴らしいだろう。俺はロータリーのトップなんだ。」とそのマッサージの時間が終わるまでロータリーの話をししゃべりっぱなしだったんだそうです。そのガバナーも後になってしゃべりすぎたなと思ったそうですが、あんまさんが「今日はだんなさん、色々いい話を聞かせて頂いて有難うございました。一生懸命要望に応えるよう頑張ったんですが、やっぱり不十分だったんでしょうかね」と言ったそうです。そして「だんなさん、私はロータリー

もありがたいと思っていますが、もっともっとあり難くてこの仕事を続けている喜びとしてあったことを一つ話させて下さい」「どうぞどうぞ。なんだ?」「私が道路を歩いていたら小雨が降ってきて、道路を歩いている人が私にぶつかっても知らないふりをする程騒々しかった。それで道路を渡りたいと思っていても車はガンガン通る、雨はポツポツ降ってくる、さて困ったもんだと思ったときに、つかつかと近寄ってくる小さい子どもがいたんです。そして私の白い杖を握っている手をそっと握り締めて向こうの岸まで渡してくれたんです。その子はその時一言も話さずに、その手のぬくもりが本当に喜びで今も忘れられない。あれが本当に人を助けることだと思って私も人の苦しみをとるために働いているんです」そのガバナーは頭を殴られたような気持ちで「我々は世界社会奉仕だのといっているけれども、本当に身近なところに困っている人がいっぱいいるんだ、それをわからなかったのはロータリーとして恥ずかしいと、公式訪問でまわるところで次々とそのあんまさんの話をしたそうです。そうしたら拍手喝采をいただいたという話をしていました。確かに世界は地球家族として大切だと思うのですが、やはり我々が育てられたこの地域に必要なものに改めてやりたいと思うのがロータリーアンだと思うのです。最後に、永六輔さんの詩を紹介します。

【生かされて】

人が生きていくということは 誰かに借りを作ることである

生きていくということは その借りを返していくことなんだ

誰かに借りたら誰かに返そう

誰かにそうしてもらったように誰かにそうしてあげよう

これがロータリーの気持ちの一つかなと思います。

委員会報告

出席委員会

委員長 迎田 健

本日の出席		前々回の出席	
会員数	47人	出席率	66.67%
出席数	32人	修正出席数	34人
出席率	71.11%	確定出席率	75.58%

●メイクアップされた方

藤川亨胤君 迎田 健君 越智茂昭君
上野欣一君

●ビジター 木村有為君(鶴岡西 RC)

佐藤宏一君(鶴岡東 RC)

関原ガバナー・佐々木ガバナー補佐



・・・次号に掲載させていただきます・・・